

科目名称:社会福祉史					
担当者名:堂田 俊樹					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門基本	1年後期	講義	選択	2	社会福祉学科(2)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し		ナンバリング		13204061
授業概要:日本の社会福祉史について、人々の生活・制度・政策・実践・思想の変容を中心に、総合的に解説します。また、歴史的な観点から現在の社会福祉を取り巻く諸問題を理解し、社会福祉の意味について考察します。					
到達目標:①日本における社会福祉の歴史について時代背景や要因を踏まえて説明することができる。②主要な制度・施設・人物などについて基礎知識を身につけることができる。③歴史的な視点から社会福祉の諸課題について理解し考察することができる。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 第1回は日本における社会福祉史の概要と成績評価について説明を行います。			事前に配布資料を一読してください。事後、再読してください。(60)		
第2回 第2回は海外の社会福祉史と日本に与えた影響について講義します。			事前に配布資料を一読してください。事後、再読してください。(60)		
第3回 第3回は古代社会と救済制度・慈善について講義します。			事前に配布資料を一読してください。事後、再読してください。(60)		
第4回 第4回は中世封建社会と慈善・救済について講義します。			事前に配布資料を一読してください。事後、再読してください。(60)		
第5回 第5回は近世封建社会と救済政策・慈善について講義します。			事前に配布資料を一読し、近代以前の社会の相互扶助の関係性や社会の仕組みについて確認してください。事後は配布資料を再読してください。(60)		
第6回 第6回は幕末から明治維新にかけての公的救済・慈善について講義します。			事前に配布資料を一読し、救済や慈善の理念とそれに基づく実践の関連性や論理を考えてきてください。事後に配布資料を再読してください。(60)		
第7回 第7回は近代国家形成期の公的救済、慈善事業、社会改良思想について講義します。			事前に配布資料を一読してください。事後、再読してください。(60)		
第8回 第8回は産業革命期の公的救済・慈善事業について講義します。			事前に配布資料を一読し、慈善事業に携わる人物について関心や理解を深めてください。事後は配布資料を再読してください。(60)		
第9回 第9回は日露戦後期の感化救済事業について講義します。			事前に配布資料を一読し、社会福祉行政の機能について確認してください。事後に配布資料を再読してください。(60)		
第10回 第10回は第一次世界大戦後の社会と社会事業について講義します。			事前に配布資料を一読し、日本の社会事業の特質について確認してください。事後に配布資料を再読してください。(60)		
第11回 第11回は昭和恐慌、準戦時体制への移行と社会事業について講義します。			事前に配布資料を一読し、救護に関わる5つの法制度について対象を確認してください。事後に配布資料を再読してください。(60)		
第12回 第12回は日中戦争・太平洋戦争と戦時厚生事業について講義します。			事前に配布資料を一読し、戦時下に成立する法制度について確認してください。事後に配布資料を再読してください。(60)		
第13回 第13回は戦後改革と社会福祉について講義します。			事前に配布資料を一読してください。事後、再読してください。(60)		
第14回 第14回は高度成長期の社会福祉について講義します。			事前に配布資料を一読してください。事後、再読してください。(60)		
第15回 第15回はグローバル時代の社会福祉について講義します。			事前に配布資料を一読してください。事後、再読してください。(60)		
履修に必要な予備知識や技能:社会福祉概論Ⅰおよびソーシャルワーク論Ⅰで学んだ内容をしっかり理解しておいてください。そのうえで日本における現在の社会福祉の法制度や実践について関心をもっておいてください。					
課題に対するフィードバック:小テストの内容や解答方法については、提出後の次の授業時に補足説明および解説します。なお質疑のある場合は、随時、研究室で受け付けます。					
評価方法・基準:小テスト、受講態度、試験の結果等を総合的に評価します。 小テスト15%、受講態度15%、定期試験70%					
教科書:使用テキストなし 参考書:授業時に適宜、紹介します。					
備考:					
実務経験の内容・期間:なし					